

International Rubber Science Hall of Fame (国際的ゴム科学の殿堂)

アクロン大学の前身であるブクテル大学でゴム化学の授業が始まってから50年経ったことを記念して、1958年に国際的ゴム科学の殿堂が設立された。この殿堂入りした研究者たちの写真はアクロン大学の高分子科学科内の廊下に飾られている。選考基準はゴムのような挙動をする材料に対する理解を深めるのに貢献した研究者もしくは顕著な発明をした人で、故人である。特に故人とした理由は生きていない人を殿堂入りの対象にすると、圧力をかけて名誉を得る工作を行う人がいる可能性を恐れたためということであり、生きていない人でないと受賞できないノーベル賞とは異なった哲学を基に選考されている。選考はアクロン大学とアメリカ化学会のRubber Divisionによって構成された委員会が行う。

日本人としては1977年に東京都立大学の故山本三三三(やまもとみさぞう)先生が選ばれている。今のところ選ばれている日本人は残念ながら先生だけである。先生の受賞理由はポリマーのレオロジー、統計力学の分野で粘弾性の現象論的理論展開を行ったことである。また、Flory, Treloar, Oenslager, Ziegler, Nattaらも殿堂入りしている。

参考文献 : ACS Rubber Division, “Vignettes from the International Rubber Science Hall of Fame (1958–1988)” (1989)

(株)ブリヂストン 中島 幸雄



MISAZO YAMAMOTO (1928–1974)